



灯す やさしいあかりを手元に



飲む 倒れにくいグラス類

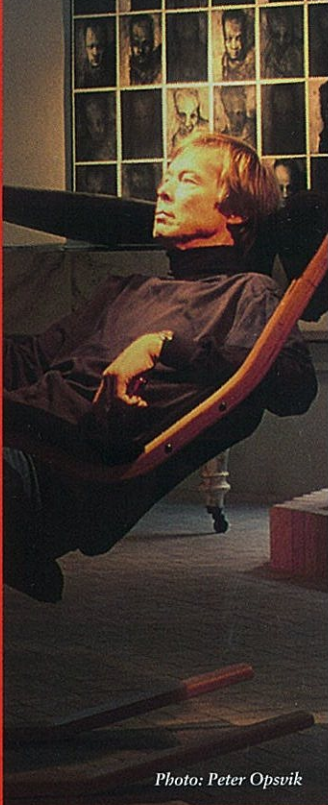


Photo: Peter Opsvik

 Denmark  Finland  Norway  Sweden



食べる 屋外で食べる、ピクニックの楽しみ



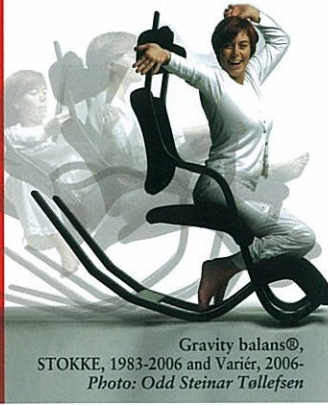
座る 柔らかな発想の椅子のかたち

北欧の生活デザインと文化展

同時開催
ピーター・オプスヴィックの椅子展



Tripp Trapp, STOKKE, 1972-
Photo: Dag Lausund



Gravity balans®,
STOKKE, 1983-2006 and Variér, 2006-
Photo: Odd Steinar Tollefsen

2010年12月4日(土) - 12月26日(日)

岡山市デジタルミュージアム 4階企画展示室

時間：10:00～18:00 (17:30最終入場) 休館日：月曜日

入場料：500円 (中学生以下無料、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳持参者と付添人1名は無料)

主催：岡山市デジタルミュージアム

企画・監修：島崎 信 (武蔵野美術大学名誉教授)

協力：NPO 東京・生活デザインミュージアム/織田憲嗣 (東海大学芸術工学部からしデザイン学科教授) /

株式会社ストックジャパン/株式会社ロイヤルファニチャーコレクション/産調出版株式会社

後援：フィンランド大使館/ノルウェー王国大使館/デンマーク王国大使館/スウェーデン王国大使館/スカンジナビア政府観光局/Visit Finland /

社団法人日本フィンランド協会/北欧建築・デザイン協会/日本フィンランドデザイン協会/社団法人日本インテリア産業協会/

社団法人日本インテリアデザイナー協会/社団法人日本クラフトデザイン協会/岡山県/岡山県教育委員会/岡山市教育委員会/岡山デザイナーズ協会



OKAYAMA
DIGITAL MUSEUM

北欧の生活デザインと文化-展

近年、北欧諸国は、デザインの分野をはじめ、エコ、教育、福祉などの社会システムまで、多方面で注目を浴びています。

北欧諸国は、厳しい気候、資源の乏しさ、人口密度の低さなど、負の要素をカバーするため、「自然と人が何よりも大切な国の資源である」ということを基本に社会システムを構築してきました。また、物質的な豊かさよりも精神の豊かさを重視する国民気質を育ててきました。

このような背景が、昨今の時代の流れと重なって、様々な分野で世界の先駆けとして注目される理由と言えます。北欧が生んだデザインが、使い手のことを考えた機能的でシンプルながらも温もりのあるデザインとして優れた評価を受けているのも、こうした背景の一端といえるでしょう。

本展覧会では、世界中で愛されている北欧の日用品椅子、照明、食器類など約150点を展示いたします。同時に、そのデザインの特長や制作された社会背景にふれながら、人々のライフスタイルや生活者としての視点・価値観など、文化や風土などの側面も合わせてご紹介いたします。



同じ緯度でヨーロッパと重ねたときの日本の位置



削る
台所からそのまま食卓に



飾る
心楽しい飾りもの



描く
ひとつの形からひろがる形



容れる
楽しいお酒の入れもの

同時開催

ピーター・オプスヴィックの椅子展

従来の「座り方」に「動態」(ムーヴメント)という新しい発想を取り入れ、革新的な椅子を発表しているノルウェーのデザイナー、ピーター・オプスヴィック(1939年～)。

本展では、2008年7月に出版された彼の著書『Rethinking Sitting』(邦題「座る」を考えなおす)で語られる新しい「座り方」の提案と、彼が手がけた数多くの椅子の背景にある思想を、実際に商品化している作品を通じて、楽しく、わかりやすく紹介します。

子どもの成長に合わせて座高を調整できる《トリップ トラップ》は、1972年にノルウェーから発売されて以来、子ども椅子のスタンダードとなり、世界中の幼い子どもをもつ親たちに支持され続けています。また、人間のからだ本来の、バランスをとろうとする動きを、椅子の座り方に取り入れ、姿勢の原理に基づいて作られた「バランス・チェア」《ヴァリアブル》を1979年に発表しました。その後多くの革命的な椅子を発表し、今日世界各国で愛用されています。

オプスヴィックの「座り方」への様々なアプローチを通して、今一度、生活の中の「座る」を考えなおしていただければ幸いです。



Multi balans®, STOKKE, 1981-2006 and Variér, 2006-
Photo: Variér Furniture AS



Thatsit balans®, STOKKE, 1991-2006 and Variér, 2006-
Photo: Dag Lausund

2010年12月4日(土) - 12月26日(日)
岡山市デジタルミュージアム 4階企画展示室

ギャラリーレクチャー

12月4日(土) 10:00 ~ 11:00

「北欧の暮らしと生活デザイン」

講師: 島崎 信(武蔵野美術大学名誉教授)

12月11日(土) 14:00 ~ 15:00

「ピーター・オプスヴィック デザインの魅力」

講師: 戸田 健(椅子デザイナー)

※いずれも会場は4階展示室(定員なし、事前申込みは不要、展覧会入場料が必要)

島崎 信(しまぎまこと) / 企画・監修

東京生まれ。東京藝術大学美術学部図案科卒業。デンマークにて王立芸術アカデミー建築科、デンマーク市インスティテュート・オブ・テクノロジー修了。現在、武蔵野美術大学名誉教授、NPO 東京・生活デザインミュージアム理事長、日本フィンランドデザイン協会理事長、北欧建築・デザイン協会副会長、鼓童文化財団理事長、島崎信事務所代表。



岡山市デジタルミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1
Tel. 086-898-3000 Fax. 086-898-3003
<http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>



岡山駅西口の正面、リットシティビル内